# 【ツエーゲン金沢】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
## 久保 賢也、沖崎 颯

2024 年 10 月 12 日(土)、志賀町陸上競技場で、久保 賢也 選手と沖崎 颯 選手が、「ツエーゲンがやってくる in 中能登」のクラブ運営サポート活動を行いました。

・関連部署：事業企画部ホームタウン推進室、強化部、広報

・活動内容、目的
活動内容：志賀町、中能登町、七尾市の小学生と「ふれあいサッカー」、サッカーをしない「遊び」で触れ合った。
目的：被災した子供達と直接触れ合う機会を作り喜んでもらう。選手を身近に感じてもらいファンを作る。スタジアム観戦のきっかけを作る。

◎選手のコメント
久保 賢也 選手
活動を通して地域のサッカー選手の影響力はとても大きなものであると実感した。選手が登場するだけで子ども達は喜び笑顔になる。はじめは、人見知りで遊びを楽しめていなさそうだった子も声をかけて一緒に楽しんでいるうちに自主的に遊びに参加するようになった。最後のプレゼント企画では、「選手のもの」というだけで子ども達は喜び、多くの笑顔を見ることができた。子ども達の健全な成長にサッカー選手の交流は大きな役割を担うことができると感じた。

沖崎 颯 選手
令和 6 年能登半島地震や能登半島豪雨でたくさんの方が被災され、ツエーゲン金沢でも被災された方々の力になれるように活動している中で、今回の中能登で子ども達とサッカーや遊びで触れ合ってみて、自分が元気を貰えるほど活発で 元気一杯の子ども達が多くいた。終始楽しそうにしている子ども達や「応援しているよ、頑張って、今日はありがとう」と声をかけてくれる親御さん達の声を聞くことができて心からよかったと思えたし、もっと力になりたいと強く感じた。

写真提供／ツエーゲン金沢

NISSAN

J.LEAGUE

# 【ツエーゲン金沢】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
## 久保　賢也、沖崎　颯

2024年12月6日（金）、いしかわフードバンク・ネットへ、久保　賢也　選手、沖崎　颯　選手が、フードバンクへの寄贈活動のシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：ひとり親、相対的貧困、フードロス

②　協働者：
　　特定非営利活動法人いしかわフードバンク・ネット/ダートコーヒー株式会社/ツエーゲン金沢

③活動概要や内容、目的
貧困層、ひとり親が活用する「こども食堂」などの場に飲食料品を提供するいしかわフードバンク・ネット様に飲食料品を寄贈した。
パートナー企業であるダートコーヒー株式会社様と、弊クラブから店頭には出すことの出来ない食料品を寄贈し、フードロスになる事、必要な方の手にわたり活用してもらう事を学んだ。
寄贈先では職員から現状、受け取り方法、喜ばれる品などを教えていただいた。

◎選手のコメント
久保　賢也　選手
食品ロスという課題に対しては、子どもの頃から教わる機会が多くありフードバンク・フードドライブという活動が課題解決に大変有効なものということは理解していました。しかしながら貧困問題に関してはあまり知識がないことを実感しました。日本国内でも貧困問題が多く今回の活動の重要性を認識しました。また、我々サッカー選手がこの問題に取り組むことがより効果的でサッカー選手としての役割を実感することができました。

沖崎　颯　選手
コロナが流行り、物価も上がっている中で一人親の子ども達がご飯を食べられるようにと、いしかわフードバンク・ネットさんが食品を企業や個人で寄付してくれたものを定期的に寄付する活動を一緒にさせてもらい、必要としている人がたくさんいる中で少しでも多く渡すために袋に詰めて3つをまとめて1つとしてカウントするように手間をかけてやっているのを見て、この活動の大切さや必要性を感じることができた。自分ができることは少しでも協力できたらいいなと思った。

写真提供／ツエーゲン金沢

We are Zigen!
目指せ"J1"昇格!

もったいないをえがおにつなぐ
フードドライブ実施中!
家庭に眠っている食品の寄付をお願いします
社会福祉協議会等を通して役立てます

BETSUKAWA
金沢ケーブル